

平成 26 年度第 3 回日進市地域公共交通会議 議事録

日時 平成 26 年 10 月 22 日（月）午前 9 時 30 分から
 場所 日進市中央福祉センター 2 階 多機能室（南）
 出席者 松本幸正（会長）、小塚みね子（委員）、石川和美（委員）、近藤繁久（委員）、
 宇野公秀（委員）、岩月ミサヲ（委員）、芦田こまつ（委員）、寺田裕美（委員）、
 大竹弘眞（委員）、古田寛（委員）、多田直紀（委員）、加藤直樹（委員）、
 大久保彰（代理）、伊藤文貴（委員）、山崎眞悟（代理）、後藤英丸（委員）、
 古橋昭（代理）、山内達郎（委員）、堀之内秀紀（委員）
 欠席者 近藤誠（委員）、近藤敦（委員）
 事務局 市民生活部生活安全課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり（2 名）
 報告事項 （1）平成 26 年度の運行実績について
 （2）公募型プロポーザルの実施結果について
 議題 （1）平成 25 年度の年末試行運転について
 （2）地域公共交通調査事業について
 その他

発 言 者	内 容（要 旨）
	開会
会 長	傍聴者が 2 名お見えになりますが許可してよろしいでしょうか。
	（異議なし）
会 長	それでは、入室してください。
事 務 局	（傍聴者入室）
事 務 局	次に、会長からご挨拶をお願いいたします。
会 長	<p>皆さんおはようございます。朝早く 9:30 からの開催ということで、特に遠方の方は申し訳なく思っております。これもバスの運行に合わせての開催ということ、ご理解頂ければと思います。</p> <p>みなさんご存知のように、日進市は、今年は国の補助を受けながら調査事業を行っております。考えてみますと、この日進を含めて尾張東部地域というのはまだまだ人口も増え、このあと大型ショッピングセンターの出店とか区画整理が進んで、10 年後には大きく姿が変わると思います。</p> <p>今後の日進市としての公共交通のあり方を検討するための調査ということで、広範の調査を実施しています。ぜひ専門の方々から知恵を頂きながら調査を実施していきたいと思っております。一方、住民の方々の暮らしを支える公共交通というのが一番重要と思っております。</p> <p>そのため、公共交通全体の計画とはいえ、住民の方々の意見を十分に反映した計画にしないといけないと思っております。専門委員の皆さん、住民代表の方々のご協力が欠かせな</p>

	<p>いと思います。調査に関してもぜひご協力をお願いしたいですし、年末年始の運行の話もまさに皆様方の生活に直結することだと思いますので、そこに関してもご意見頂ければと思っております。それではよろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは、議事に入りたいと存じます。会長よろしくお願いいいたします。</p>
会長	<p>議題1でございます。年末年始運行についてということで事務局からご説明をお願い致します。</p>
事務局	<p>(資料に基づき説明)</p>
会長	<p>一昨年から試行運行しています年末年始運行ですが、利用実績からいけばこれまで通り、過去2年と同様に29日・30日の2日間ではないかという事務局からのご説明でございましたが、何かご質問、ご意見等ございますか。</p>
委員	<p>私どもタクシーの業界としてはやはり年末年始というのは非常に“かき入れ時”でございます。今後本格実施を計画策定の中で検討されるとのことですが、やる・やらないということも含めて早めにお知らせを頂きたいと思っております。28年度のバス再編計画の中でということになりますと、来年度は試行運行なのか分かりませんが、これも検討の対象ということではよろしいわけでしょうか。</p>
事務局	<p>来年度も基本的には本年度ベースの要求をさせて頂く予定ですが、市財政が厳しい状況でございますので、今の段階では実施の約束はできませんが、今年度と同水準での試行が実施できればと考えています。</p>
会長	<p>資料1ページの市負担金、赤いところを見て頂きますと、平成23年は1億2,940万、24年は1億2,550万ということで、市負担金が少し減少していますが、当時試行運行としてやってみようという動機づけになったかと思っております。勿論、利用者の方々からのご要望の声もあり、かつ利用者の方々が多くて、市負担金も減っていたということがこの試行運行に繋がったと思っております。</p> <p>ただ、平成26年度に関しましては先ほどの説明のとおり市負担金が増えてきています。厳しい状況だということだと思っておりますが、今年度に関しては何とか年末年始を実施する、ただし来年度は更に市負担金が増えるようになれば、不透明になっていく可能性もあるというご説明だったと思っております。</p>
委員	<p>(試行を) やっていただくということは別に問題ないと思っておりますが、利用される方がどういう目的でこのバスを利用するのかというところが見えてこないの、ただ利用人数が一定あるからというのでは意味がないと思っております。年末年始は学生や子どもが使わない、高齢者等が多く使っているとの説明でしたけど、今の運行は役所を中心に回っているバスです。年末年始にもし需要があるならば、具体的にどういう運行に需要があるかを見て運行計画を考えると、そういう発想がいただけるとありがたいなと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。年末年始の運行に対してどんな目的かというのがもし分かれば、事務局ご説明お願いしたいと思っております。</p>
事務局	<p>当初に検討した際、一番大きな理由としては、6日間の年末年始が休みになると、特に買い物等に出かけたいご高齢の方、また実家が日進にあったとして若い世代が戻ってきて、車の足をあてにできる方ばかりではないという意見から、6日間を少しでも縮めたい、6日全く出られないというのはいくらなんでも大変だというのが、最初のきっかけであったと記憶しております。</p>

	<p>その中で実際利用して頂く方の利用者の属性は、無料対象者、定期券利用者の割合が高めになっているということから、ご高齢の方のご利用が多いのではないかと判断させていただいているところです。</p>
会 長	<p>利用結果を見ると、西コースは、多少のバラつきはありますが 107%、普通よりも多いということです。西コースにはピアゴがあります。或いは中コースも全体ほぼ平均ですが、ショッピングセンターがありますので買い物利用が見込まれているのではないかと思います。あとは声としてあったのは、市内の年末のご挨拶に使いたいという声もありましたので、結構多様な利用もあるのではないかと考えております。</p>
委 員	<p>さきほどの委員の方からのお言葉を聞いて、不思議に思ったのですが、くるりんばすを利用する私たちにとって、何の目的でというのはちょっと疑問を抱いたのです。</p>
会 長	<p>委員が言われたのは、何のために走らせているかではなくて、走らせて実際何のために使われているのかということです。事務局はそれをとらえているのかという意味です。</p>
委 員	<p>年末年始というのは、先ほど会長さんが言われたようにご挨拶、買い物、たくさんの方がいるのです。そういうことを踏まえて出してほしいとお願いしているのです。</p>
委 員	<p>目的や対象を絞るすぎではないかということです。もっと多様な使い方を検討する必要はないのですかということです。役所はもう閉庁しているわけですから、役所を起点にどうしても走らせなければいけないという理由は希薄になります。そうすると、コースを変えて、私が想像したのはおそらく買い物が多いのではないかなと考えていました。買い物ベースのところをひとつ別ルートというか集中的に走らせるような、そういう発想はないか聞いたかったと思います。</p>
会 長	<p>大変すばらしいご提案いただいたと思います。</p> <p>ただ残念ながら今の段階で、ルートを設定してそれに向けた運行は現実的には非常に厳しいです。これは 28 年度に向けて是非考えて行きたいと考えております。</p> <p>年末年始は、市役所は何かやっているかといえば何もやっていない。どなたもみえない。宿直ぐらいです。そういう意味では日曜日もそうです。この間、日曜日調査をやりましたが、市役所は寂しいものでした。ただ、“乗継拠点”という意味がありますので、ここに来ればどのコースにも乗れるということなのですが、空間をもう少し整備してもらおうとかそういうのもあるといいです。</p>
委 員	<p>私はいつも思うのですが、この 10 月にならないと年末試行の会議が開かれられないというのは不思議です。もう 2 か月後にはお正月が来ます。もっと早く、年度が変わった時点でそういう問題を出せば買い物コースとかいろんな方面を考えられると思うのです。今までそういう発言はしていると思います。10 月で突然コースを変えてというのは確実に無理だと分かっておりますので、年度が変わった時点ですぐ年末年始のコースの重要性をとらえて考えて頂いたらと思うのです。</p>
会 長	<p>確かにそうですね。課題であるのは間違いなくて、28 年に向けてこの辺を少し精査していかないといけないということと、今年度の年末年始はこういうことで同じような形ということになりますが、来年度に向けて何か検討、変えられるような方策はありますか。</p>
事 務 局	<p>会長のおっしゃる通りが大部分で、限られた予算の中で工夫をして実施するというのが本意でございます。その辺りもご理解頂きながら、28 年度に向けて 27 年度について</p>

	も考えて参りたいと思いますのでよろしくお願いします。
会 長	来年度例えば年末だけ違うコースを走らせる。一見よさそうですが、多分多くの方がそれを十分知り得ないと思います。急に全く違う時間帯で全く違うコースというのは、多分戸惑うことになります。それは普段から、例えば日曜日はいつも違うコースだとか、昼間はいつも違うコースであり、その延長で年末年始も違うというような、手法の検討が必要だと思います。委員が言われるのは最もですが、28年度に向けて良いものを作り上げる中で、お願いしたいと思いますので、引き続きご意見頂ければと思います。
委 員	年末年始のアンケートや利用される時間帯とか目的とか、そういうのは載っていないですか。
会 長	年末年始限定のアンケートは、多分他の自治体でもやられていないです。やってくれらるとおもしろいです。
事 務 局	これまで、そうしたアンケートを計画したことはなかったのですが、今回の市民アンケート等でも踏まえてはいいです。今後も市民のみなさんの意見を聞く機会もございますので、そういった際に皆さんのご利用のニーズを改めてお聞きするという事も可能かと思えます。
会 長	直接的に聞くのはなかなか難しいのですが、このあと住民の方々の意見を聞く場がありますので、そこでぜひご意見を頂きたいということだと思います。因みに行政機関の方々と、
会 長	この間の10月末の利用実態調査で、私の研究室の学生が手伝わしてもらいましたが、その時に“もし年末年始の二日間、くるりんばすを運行するとしたら、どの日に乗りたいですか？”と聞きました。本日その資料は配布していませんが、結果としては試行運行の利用結果と全く一緒で、29日・30日が最も多く同数でした。29日27%、30日27%ということで、この二日間で半数の方が望んでいるということでした。ただ時間までは残念ながら聞いておりませんので、これは28年度の再編に向けてはこういったところもしっかり調査していく必要があるなと思います。
委 員	年始はどうですか。
会 長	年始は少なかったです。29日27%、30日27%、31日15%、1日7%、2日11%、3日13%でした。実は年始がもっと多いかと思っていたのですが、案外年始は皆さんそれほど強く要望されていないということが分かりました。 因みに“年末年始に運行してください”という希望があった方は、全回答者625人の内6割でした。先ほどの利用実績を見てもらいますと、60～70%くらいが12月1月の利用者に対する比率だったのですが、大体これを裏付けた形になっていると思います。6割くらいの方が運行してくださいと希望しています。そのうちの半数が29・30でお願いしたいということでした。
委 員	地域の方等にお聞きしたら、バスがないから私たちはどこへも出かけられない。という声は多数あります。

会 長	<p>予算に余裕がある、又は運賃収入がもっと増えるのなら、市の負担も減りますので、年始の運行や、先ほど委員が言われたようにもう1便プラスも可能となって来ます。無い袖は振れないという段階ですので、我々が目指すべきはもっと利用者を増やしていく、特に今年度利用者は減っておりますので、大変厳しいです。何とか増えるようにご協力をお願いしたいと思っております。</p>
会 長	<p>委員からはもう1便をとというご提案とか、違った形での運行等々のご意見がありましたが、予算の制約が第一にあるということ、試行運行になるということ、28年度に大きな再編を迎えるのでそこに向けた改善を進めるということで、事務局提案の29・30日の運行、便は3・4便と6～9便、休日ダイヤ、更に運賃は通常と一緒にということでよろしいですか。ご了承いただけますでしょうか。</p>
委 員	(異議なし)
会 長	<p>ありがとうございました。承認いただいたということで、手続きを進めて頂ければと思います。</p> <p>次の議題です。地域公共交通調査事業について、事務局からご説明お願いいたします。</p>
事 務 局	(資料に基づき説明)
会 長	<p>現在、調査事業ということで実施しているアンケート、この中身をざっと説明頂くと共にこれからやる調査、特に地域懇談会の開催ということで、ご協力も含めて説明がありました。何かご質問・ご意見、こんな調査をやるべきだ、こんなの足りないのではないかとといったところも含めてご意見頂ければと思いますがいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>普段バス事業やっております最近非常に課題だと思っておりますのが、バスの利用をどうやったら増やせるのかということの中で、一番大きな問題は、公共交通を利用されるのは“習慣”です。その“習慣”を変えるというのは非常に難しいこと、後はどうやったらお知らせが出来るかです。例えばバス停がどこにありますとか、そういう基本的なところからお知らせする必要性を最近本当に感じているところです。</p> <p>例えば日進市に関わる路線ですと、去年の4月に開業しました“愛知淑徳大学線”というのがあります。実は初年度は当然学生さんのご利用ということで運行を始めましたので、一部例えば藤が丘の駅の方へ行かれるお客さまにとっては、必ずしも必要な時に便数が多いという状況ではないです。それでも実は今年度上期の実績で対前年のご利用者数114%ということでした。普通、公共交通なんて10何%増えることなんて殆どあり得ない数字です。</p> <p>学生さんそのものの数がそれほど増えていないので、一般の方のご利用が張り付いてきたと思いますが、所謂バス路線は、走り始めると最初の内はバスが頻繁に走っているなど沿線の方はご覧になって、ただご自分が乗られるということはある程度考えられないようです。それが、最初は多分通学用のバスで利用出来ないのかと思って見えた方も、誰でも利用できることを知られて、今年度になってから地元の方にも結構使われるようになってきているということだと思います。</p> <p>誰でも利用できるバスだということを知っていただくのに、その沿線の状況にもよりますが、かなり時間がかかってしまいます。例えば、新線開業の時には新聞折り込みのチラシを入れるなど、色々工夫はしているのですが、実際に沿線の方のお目に入っているのかというのがよく分からないところです。</p>

	<p>今回の調査項目を色々と拝見する中で、利用促進というか告知をどんなツール・媒体で皆さんがそういった情報を得られるのかという聞き取りがあまりストレートには入っていないような気がします。どういう形であれば情報が得られるか、いつもどういふもので情報を得ておられるのか、そういうようなことをお聞きいただいて、例えば今後のそういった周知の参考に出来ないかなと思います。</p> <p>一般にコミュニティバスですと市の広報誌で知られる方が多いですが、口コミやいろんな同好会での情報交換というのものもあるかもしれないです。どこをターゲットに情報を発信したらより効果的に知っていただけるのかを、今後の調査でも少しで聞いていただけるといいのかなと感じます。</p> <p>もう一つ、主要集客施設の調査の中で、日常生活で利用する主要施設 10 施設程度で、参考として書いてある拠点が上位 5 位までですけど、駅が多いです。駅というのは、公共交通を利用する習慣がある方がご利用されるケースが多いので、そこを重点的にというよりも、一般の商業施設とか車でアクセスされる割合が圧倒的に多い所で、何らかの形で聞いていただくと、そういう人たちをいかに公共交通利用に振り向かせられるかだと思います。少しでも、1 人 2 人でも乗っていただければ、習慣になれば年間では大きいですから、調査される施設の選び方を少し配慮いただくと良いのかなと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。主に 2 点ご提案いただいたと思います。</p> <p>公共交通に関する情報をどんな手段・方法で仕入れているかを調べて方が良いのではないかということ、主要施設が駅になっていますが、駅はそもそも公共交通を利用する習慣のある方々の利用が多いので、そうではなく現在車で行かれている方が多いような施設で聞いて、それを公共交通に振り替えるような方策を検討するためのデータを取ってはどうかということでした。いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>後段の件については全くその通りだと思いますので参考にさせて頂いて、施設の選出の際にはそのような形で判断したいと思います。前段の件につきましても、勿論このアンケートの中に今頂いた意見を盛り込ませて頂きたいと思います。</p> <p>既に行いました調査の中に、普段どのような形で時刻表とか動線、目的地の検索を行っていますかという設問を加えさせていただきました。例えばスマートフォンとかパソコンで検索をしている場合はその検索サイトとかアプリの名称を教えてくださいとか、バスロケーションのシステムの利用状況も併せてその場でお聞きさせて頂いておりますので、そちらについてはまた結果がとりまとめ次第、こちらの会議の方でもご報告させて頂きたいと思います。</p>
会 長	<p>一方で、主要施設ですが、平針は市バスが入って、日進市の方は南西コースも入っています。要は公共交通で必ずしも行っていないくて、車で行っているような方もいるのではないかという気がします。そういう方がどこから来ていて、或いはなぜ車でアクセスしているのかというのを調べたいなと思っています。一概に駅だからと排除する訳ではなく、なにかその辺バランスよく是非選定して頂ければと思います。そうするとアクセスの整備というところの検討に繋がって行くと思っています。</p> <p>それから、利用促進につながる情報をどう仕入れているかです。バスの情報の検索については聞いていますが、そもそもバスの便利さとか、バスがあること自体をどう知っているということを残念ながら聞いていないです。長久手市で前に調査しましたが、結</p>

	<p>構広報が使われている。ただしご高齢の方は広報で知るのですけど、若い人たちはネットです。そういうのがあったような気がしますので、また住民懇談会の中でそういったところも聞いていただければと思います。</p>
委員	<p>4 ページのテーマの案で、公共交通の利用実態を知って生活に馴染むバスを考えようという中で、公共交通に特化せずに、市民の抱えている問題点を把握してはどうですか。例えば活性化再生法の中でもまちづくりというキーワードが幾つかありますが、まちづくりというのはハードのみでもなく、ソフトの部分でもあるのではないのかなという気がします。</p> <p>今のところ交通に特化していますが、何かの機会に市民の方たちが一緒にコミュニケーションできる場の中で聞けたらいいと思います。いろんな悩みのお話を聞きながら、接点が見出せないかなという気がします。</p> <p>先ほどありました様に、乗る習慣を変えるというのはなかなか難しいというのがあります。身体障害者手帳の方々には色々情報を知るといのは当然必要なことですが、基本的には前からバスに乗ったことがない人にとってはなかなかバスに乗りましょうと言っても習慣が無いので転換しないのです。ですから日進市も利用者が減っているという話なので、そういう点も考えて頂きたいです。</p>
会長	<p>住民懇談会のやり方という意味になると思います。これはファシリテーター次第だと思うのです。ともすると、話題が発散してしまっ、まとまらなくなってしまうのですが、上手いこと誘導できるファシリテーターが居れば良いと思います。話題としてはいろんな切り口があった方が良くと思います。</p>
事務局	<p>今回策定する計画は、委員がおっしゃられた通り、まちづくりとの関連性が強調されている部分もあります。また日進市の将来の交通像を描くという意味合いもございますので、皆さんどういった思いを持って日々暮らしているのかということについて語られるということは、あって良いと思います。非常に参考になります。</p>
会長	<p>ではちょっとテーマを変えて頂きながら、住民の方々にはバスだけについて語るのではなく、公共交通だけについて語るのではないのだと、日進市での生活について語る場なのだという意識を持ってもらえるようなテーマにして頂くと共に、少し議論を進める工夫、いろんなところで発散していく可能性があります、そこを上手く公共交通の中に落とし込んで行けるような工夫を是非お願いしたいと思います。どうもありがとうございます。</p>
委員	<p>名古屋タクシー協会です。身体障害者・移動困難者に対するアンケートの項目は大変素晴らしい項目ですが、いかんせんアンケートだけということもあって、実際に生の声を聴くような場というのがどの程度あるのかなと思いました。</p> <p>これは、移動困難者に対してすべからく「くるりんばす」で、コミュニティバスで対応するというのは、恐らくは不可能な部分が相当あるのかなと思いますので、その役割分担をしっかりとしていくということ、その中でタクシーを利用した施策を打っていくのかということだと思います。バスに乗れる方はバスに乗っていただく、タクシーの利用が不可欠な方はタクシーを利用していただくような施策をご検討いただきたいと思います。この役割分担をきちっとしていくことの重要性が、今回の法律改正がされていく中でバスだけではなくて、自家用輸送であったり、タクシーでの個別の輸送であ</p>

	<p>ったり、そういったものをどうやってミックスさせることによって市民住民の皆様方より一層の移動の足を確保していくのかということだと思います。</p>
会 長	<p>主に2点、ご意見があったと思います。障害者の生の声をどうやって聴いているのかということ、もう一つは役割分担を明確にするという必要があるが、そこをどういう形で調査されるかということです。お願いします。</p>
事 務 局	<p>生の声ということですが、関係団体調査の団体選定はこれから行うところですが、直接ヒアリングで聞き取れるかというところは、手法は検討の余地がありますが、団体の方の声をお聞きする機会を作ることで、少しはそれに近づけるのではないかと考えております。</p> <p>今回このアンケートを加えさせていただいた経緯としまして、公共交通をどこまでも拡大してすべての方に利用していただけるようにするというのは難しく、公共交通で担う部分と福祉で担う部分での役割分担を行政としても決めていかなければいけないという認識から実施することに至ったもので、まさに役割分担が重要と思っています。</p>
会 長	<p>前半の生の声の聴き方は、検討頂くにしましても少なくともこのアンケートでは役割分担を明確にしていきたいというその趣旨で実施するということです。更に言いますと、公共交通として、そういう方々の生活を支えられない場合には、その方たちはどのような手段を望んでいるのだろうかといったところまで聞くこととなります。その際はタクシー協会等々のご協力もいただくような方法もあると思います。</p>
委 員	<p>愛知運輸支局でございます。いかにも役所的な発言で非常に恐縮ですが、今回、今やっていただいております調査事業というのは地域公共交通網形成計画を作るためにやっておられるものですが、まず日進市さんには一番上の計画で“日進市総合計画”というのがおありになる。どんなまちにして行くのかという大きなヴィジョンがありまして、その下に“都市マスタープラン”、まちづくりに触れた計画がございます。</p> <p>今度作っていただく公共交通網形成計画は、こういうまちづくりに関する計画に対して、それに見合った公共交通網をどう整備していくかというところがポイントとなろうかなと思います。そのため、地域懇談会の開催の冒頭には、こういう総合計画、マスタープランがあって、こういう公共交通網計画を作って行くというのを、参加の皆さんに対してご周知・ご理解頂ければ大変うれしいと思っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。冒頭で、総計、都市マス、日進市はこういう姿を今目指しています、それに対して今日は特に公共交通という切り口からご意見頂ければということです。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>まだ地域懇談会の進行については検討段階で、個別の具体的な内容はこれから決定させていただきますので、いただいたご意見は含めさせていただけたらと思います。</p>
委 員	<p>名古屋のタクシー協会でございます。恐らく市民委員の皆様方には今の形成計画とかいうのは何のことか大きな疑問だろうというのが私の感想です。まずは今年の5月に公共交通の活性化再生法という法律が改正されて、これまでの連携計画を形成計画というものに造り変えていく、国としてはそういう方向に誘導しようとしている訳です。何のために今そういうことをやらなければいけないのかということが、まちづくりと一体となった交通網を作って行かないと、やはり交通単独で考えては進んで行きませんという</p>

	<p>ことです。都市計画の部分においても相当な新しい施策が盛り込まれております。</p> <p>そういったことをどうやって住民の皆様方にお知らせしていくのかということですので、まずは委員の皆様方にそういったことをしっかりとご理解頂くということ、今度はどこが窓口になるか分かりませんが、住民の方にそれをしっかりと伝えていくとだと思います。恐らくそれは市町村のご担当の方になろうかなと思いますけれども、この場では、やはり国の方からしっかりとそういう説明をして頂くことが私は必要だと感じております。</p>
委員	<p>活性化再生法が改正されたとか、国の目指している方向等を説明する必要は必ずしもなくて、それよりは日進市は目指す方向に対してご意見を頂きながら、住民目線で判断して頂くのが良いかなと思います。勿論、我々はこれを専門的に検討しておりますので、法律とか補助メニューが変わったかというのは必要に応じて勉強していくということで、ご理解頂ければと思っております。</p> <p>ただ大事なのは、先ほどもありましたように、“まちづくりと交通を一緒に考えよう”という、ここが一番大事だと思っております。まちづくりは私の理解では2つありまして、1つは都市の形を変えていくというまちづくり。もう1つはコトのまちづくりで、公共交通を支えるために住民の方々にいろんな活動をして頂くまちづくり、これが多分国の施策の方には明確にはされていないと思いますが、実は私はこちらの方が大事だと思っております。</p> <p>皆さんでくるりんばすや名鉄バスの利用者を増やしましょう、もっともっと便利だということを知ってもらいましょう、そして住民の方々が公共交通を使って、移動して、交流を深めて繋がりを強めて頂く、このまちづくりも大事だと思っておりますので、そういったところを我々は認識しながらやって行きたいと思っております。</p>
会長	<p>委員が言われたこととはトレードオフになると思っております。総計、都市マスのお話をして、公共交通の話をしてくださいというのか、正に、日進の生活で何でもいから話をくださいという両方は難しいので、ここは事務局で検討させて頂いて、どちらの切り口でやって行くかというのはお任せいただければと思っております。</p> <p>いずれにしても、今考える形成網計画に関しては、公共交通全体の計画に関しては上位計画があつて、それを実現するという、車輪の両輪です。まちづくり、都市づくりです。都市づくりと公共交通、一緒に考えていきましょうということでお話をさせて頂いております。</p> <p>因みに日進の周辺でいうと長久手に今度イオンが出来ます。南では東郷町にららぽーとが出来ます。そういうところに公共交通を繋げていくのかどうかという検討も一緒に進めて行こうということだと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。特に住民の方々、この地域懇談会についていかがですか。今事務局からも言われましたが、是非皆さんにご参加いただきたいと共にそれぞれの団体からもご参加お願いしたいということです。可能でしょうか。お願いします。</p>
委員	<p>障害者の関係ですが、障害にはいろんな障害があつて、それぞれが違う困難を抱えています。私の知っている車椅子関係の人は、雨の日はくるりんばすを使って、普通のところは電動車椅子でほとんど行っていると聞いています。それともう一人の人は全然バスも乗れないので、タクシーをいつでも呼んだら来てくれると言っていましたので、近</p>

	<p>くであろうが遠くであろうがタクシーを使っているとのことでした。だから障害によっては、くるりんばすも使い、タクシーも使っていると思います。</p> <p>懇談会ですが、個々別々の団体がありますから、それを全部集めてというのは難しいので、それぞれの会がある時に説明に行ってもらった方が良いのではないかと考えています。以上です。</p>
会 長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>障害者の方に関しては、一口に“障害”といっても全然状況が違うということです。実は昨年、日進市から委託を受けて障害者の方々にアンケートしたのですが、全く違うという感じを受けました。今年の調査にはその経験を反映してやって頂いていると思いますので、それぞれで把握できるようにと考えております。</p> <p>それから団体へのインタビューですが機会があったらヒアリングの話でそれぞれの団体が集まるところに行けるのであれば、是非お願いしたいと考えております。</p> <p>一方で、地域懇談会に参加できる方があれば、参加のお願いができればと考えております。区長会などで「参加してください」といったお声掛けなどはお願いできますか。</p>
委 員	可能です。
会 長	<p>ありがとうございます。実際にご参加いただけるかどうかはそれぞれの方々の都合もありますので、是非お声掛けだけは頂いて、出来るだけご参加いただけるとありがたいかなと考えておりますので、よろしく申し上げます。その他いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>質問ですが、にしん市民環境ネットという環境基本計画を策定した市民で作ったNPO法人です。よろしく申し上げます。この地域懇談会はとっても興味深くて、私は参加させて頂きたいと思っておりますが、時間等はどこかに書いてありますか。</p>
事 務 局	<p>調整が間に合わなかったため資料には載せておりませんが、今のところは午前中の開催を予定しておりまして、12月12日、金曜日の10時からを予定しています。長くても2時間程度の開催を考えています。</p>
委 員	他にここの場以外に、参加の募集はどういう風にされますか。
事 務 局	<p>広報12月号の年末運行の時刻表を載せるページに一部枠を取りまして、一般の募集を告知する予定になっています。</p>
委 員	わかりました。仲間にまた声をかけておきたいと思っております。ありがとうございました。
会 長	<p>ありがとうございます。是非たくさん参加いただけるようにご協力お願いしたいと思います。老人クラブということですがいかがですか。</p>
委 員	<p>日進のくるりんばすとしては、老人会は間もなく10月25日にやる福祉交流大会での市民会館への交通の便利さを利用して頂いているということで、我々も感謝しております。終了時間に合わせて催しも行っておるとということで、それも心遣いして頂いてありがとうございます。</p>
会 長	今回もぜひ多くの方にご参加いただけるようお願いしたいと思います。
委 員	<p>地域女性団体です。会員さんの中でも、くるりんばすは車の無い方、高齢の方ということで、たくさん市役所までいろいろ会議がある時には利用させて頂いております。だからくるりんばすはありがたいという声は聴いております。また、こういう機会がありましたら参加させて頂きますのでよろしく申し上げます。アンケートはぜひ参加させて頂きたかったと思っておりますが、これは無作為に郵送されたのでしょうか。</p>

会 長	その通りです。無作為に市民の方々ランダムにお送りさせて頂いておりますので、何人かはきっと来ているはずですよ。
委 員	そうですか。ありがとうございます。
会 長	是非、よろしく願いいたします。商工会といたしましてはご協力いただけますか。
委 員	事務局の方にまた協力するように言っておきます。
会 長	通勤等にご利用いただける可能性も出てくると思いますので、是非地域懇談会のご参加、呼びかけをお願いいたします。市民委員の皆様どうぞご協力よろしくお願い致します。沢山の方々の意見を反映させて、次の計画に結び付けたいです。良い計画を立てるためには、行政だけで考えては良いものは出来ません。地域の方々の声は何よりも必要だと思っています。そして地域の方々が良いものを作り上げることが可能な時代になっておりますので、是非皆さんの力で良いものを作っていただきたいと思っております。よろしくお願い致します。その他何かございますか。
委 員	五色園に住んでおります。防災訓練が今度の日曜日に、10月26日にありますので、その時にこういうことがあるということを知らせることが出来たらと思います。でもたくさんの方が集まるので、どのように呼びかければいいですか。
事 務 局	勿論それぞれの地域のみなさんにお集まりいただけるのが最もですが、特に「普段から公共交通に興味がある」という人が居れば、お声掛けして頂ければありがたいと思っております。
委 員	個別にしておけばいいですか。
会 長	口コミが一番重要だと思っています。こういう形でご協力をお願いすることになりましたが、先ほども申しましたように良い計画策定のためにもお願いしたいと思っております。
会 長	その他ということで、何かございますでしょうか。
委 員	<p>調査事業にも若干関係することだろうと思うのですが、昨日、尾張旭市の地域公共交通会議がございました。その中で愛知医大の28年4月からのターミナルハブ化という話が一つ話題になっておりまして、恐らく日進市にも無関係な話ではないという印象を持っています。</p> <p>医大路線と日進市のコミバスとの関係、乗り継ぎの円滑化や役割分担というものが、この調査事業や今後の再編計画に反映されるかは、非常に重要なテーマではないかと思っております。恐らく、この周辺市町さんの大きな課題の一つと感じている中で、情報共有や、民間のバス事業者さんとの連携を、いつ、どうやってするということかと思っております。是非この周辺市町と愛知県の方で、今後検討して頂くことが必要ではないでしょうか。また国の方にも積極的な関与をお願いしたいと思っております。</p> <p>ここからが私共の意見なのですが、愛知医大の路線ということで高齢者の方や障害をお持ちの方は多分多く使われるのかなと思っております。そういう中で広域にあってもやはりタクシーとの役割分担は絶対不可欠だと思っております。タクシーとしての公共交通という位置付け・役割の中で、皆様方のお役にたてることは何なのかということを実際に考えていく必要があると考えています。</p>
会 長	愛知医大の周辺市町におけるバスネットワーク、公共交通のネットワークが大きく変わろうとしているということですが、その辺の情報共有はどうしていくのだということ。それから広域のタクシーの役割分担を検討すべきだということでございます。

事務局	<p>日進市では、尾三地区4市1町の広域連携協定を締結しており、その中で検討する議題の一つに公共交通の広域化の話が既に上がっていますが、実際の会議等の開催予定は未定ですが、関係市町の間に興味関心はあるという状況でございます。今後の議論の内容によってはこちらの会議の方でもご検討頂く必要が出てくるものもあると思います。</p> <p>タクシーの役割分担ですが、現在把握している状況は、リニモの古戦場駅に名鉄バスの路線として愛知医大方面行きの路線が出来るという話はお聞きしています。日進市としては古戦場駅を一つの乗り換え拠点と捉えており、くるりんばすでの乗り継ぎによりアクセスできるようになるということが、市民の皆さんの利便性にかなうところかと思いますが、くるりんばすとしては今の本数から急に増やすことは難しいので、古戦場駅までタクシーで行くという選択肢もあると、今まで藤が丘経由で愛知医大行きのバスに乗っていた人に見れば短距離になりますから、利便性は増すと思います。</p>
会長	<p>せっかくですので、古戦場駅に関連して、情報提供をお願いしますか。</p>
委員	<p>愛知医科大学のターミナル化について、実施の時期は確定的に決められてないと思いますので、今後、例えばターミナル機能としてどういうものが必要なのかということも含めて、具体的に詰めていくものと思います。その経緯を踏まえてご報告させて頂きたいと思っています。</p> <p>先ほど委員がおっしゃったバスは、「古戦場駅と病院」及び「病院と尾張旭駅」を結ぶスクールバスが無料で運行されているものです。これは大学病院へのアクセスのためのもので一般の路線バスではないので、途中下車が出来ません。乗ったら病院以外での途中の降車は出来ないという運行です。</p> <p>将来的に路線化をという話は、検討されておりますが、ダイヤ等も未定です。所謂、長久手古戦場駅というのは、恐らく来年度あたりに大型の商業施設が出店をされることによって、かなり人の流れが変わる可能性があります。特に今のくるりんばすの中央線はお買い物のお客様で下手をすると運びきれない状態になる可能性も考えられると思います。その辺り、もう少し様子を見てみる必要があります。</p> <p>公共交通、交通環境、まちづくりという面では、まちの構成もかなり違って来る要素が多いです。少しその辺は流れを捉えていくとともに、隣接する市町さんでもこれから交通計画を、というお話も聞こえてきていますので、様子を見る中で少し先送りをしないと多分今決めてもかなり変わってくるのではないかと思いますので、28年度をターゲットにして、状況を見極めながら議論をする必要があると思います。</p>
会長	<p>周辺市町のネットワークが変われば当然日進市も変わっていくということだと思っております。そのためには情報を共有しないといけません。</p> <p>委員はじめ、愛知県、愛知運輸支局の方々からそういった確定的なところがでたタイミングで是非、情報提供をお願いしたいと思っております。</p> <p>それから広域的なタクシーの役割というのは当然あるかと思っております。公共交通へのタクシーの位置付けというのは数年前からそういった形になっておりますが、一方で、十分に公共交通としての機能が果たし切れていない部分もあると思っております。まだまだタクシーの可能性も十分あると思っておりますので、逆にこんな使い方もありますみたいなご提案も是非いただきながら、既存のバスとの連携も深めていければいいかなと思っております。</p>

会 長	熱心なご議論、ありがとうございました。大変、今日は密度の濃い、良い議論が出来たと思っております。いずれにしましても良い計画策定にこの後も調査事業が起こって行くということでお願いしたいと思っております。では、予定の議題全て終わりましたので、皆様に感謝申し上げますと共に、進行を事務局にお返しいたします。
事 務 局	次回の会議は、12月の中旬以降に開催を予定しておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。それではこれをもちまして本日の会議を終了いたします。どうもありがとうございました。
	(11時30分 閉会)